

2019年10月16日

パナソニック サイクルテック株式会社

電動アシスト自転車の需要増に対応

サイクルテック柏原工場の生産体制を強化

2020年度下期より、生産能力を3割増強



【パナソニック サイクルテック本社 外観図】

パナソニック サイクルテック株式会社は、このほど、電動アシスト自転車の生産体制を強化するため、柏原工場（大阪府柏原市）への設備投資を決定しました。これは、国内市場における需要増に対応することが目的で、投資金額は約15億円です。2020年度下期より、生産能力は現在の3割増へと拡大するほか、省エネ、節水、新工法導入による環境負荷物質低減を図り、環境配慮型工場を実現します。

近年、電動アシスト自転車市場における出荷台数は、2016年度57万台、2017年度64万2千台、2018年度68万7千台と年率約8%で伸長し、2019年度以降も引き続き、成長が見込まれています（※1）。当社の出荷台数は、業界水準以上で伸長し、牽引しているのは、ショッピングモデル、子乗せモデルなどです。

今回、フレーム製造工程において溶接ラインの自動化を実現し、塗装工程についてはラインを新たに増設。生産能力の増強により、出荷台数は、現在の年間30万台から、2020年度目標の38万台に対応できるようになります。また、省エネ、節水型設備、環境負荷物質を低減した新工法などの導入によって、エネルギー使用量を15%、使用水量を32%削減し、環境保全に貢献します。

当社は今回の柏原工場での生産体制強化により、需要増に対応するとともに、環境負荷物質の低減、省エネ、節水などの取り組みを通して環境配慮型のものづくりを推進していきます。

■ パナソニック サイクルテック株式会社 柏原工場の概要

- (1) 所在地:大阪府柏原市片山町13番13号
- (2) 竣工:1964年(昭和39年)12月5日
- (3) 生産品目:一般自転車、電動アシスト自転車、電動アシスト三輪車、電動ユニット、補修パーツ
- (4) 投資金額:約15億円
- (5) 生産対応能力:2020年度下期より年間出荷台数38万台
- (6) 土地面積:21,200 m²
- (7) 建物延床面積:10,460 m²

※1:一般社団法人自転車協会 出荷統計

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。